

年間行事予定

- ◎1月13日(土) 成道会(じょうどうえ) 釈尊がお悟りを開いた事に因んだ行事
- ◎1月15日(月) 懺法会(せんぼうえ) 観音さまに懺悔と安泰を祈願
- ◎1月17日(水) 初観音講 観音さまに懺悔と安泰を祈願
- ◎2月11日(祝日) 新福寺大般若 ※祈願申込書を配布
- ◎2月15日(木) 涅槃会(ねはんえ) お釈迦さまのご命日、大涅槃図展覧
- ◎3月14日(木) 春季巡教(しゅんきじゅんきょ) 本山巡教師ご法話、涅槃堂総供養
- ◎春分の日(3月20日) お接待 どのたでも参加できます 三川各地、お寺は観音堂にて開催 ☆お菓子のお接待

祝米寿

数えて米寿(満87歳)をお迎えの方はお寺までお知らせください。大本山妙心寺管長猊下よりご祝辞と記念品がございます。

修理箇所報告

本堂、観音堂間の参道改修。雨漏り箇所、修繕。十王石幢の移設。大権修理菩薩、達磨大師尊像修繕中。殊勝某氏より本堂前提灯一對をご供養頂きました。

あながき

閑空で行われた結団式の文字が「決断式」と誤植されており、決断を迫られるくらい難儀な旅なのか！と一同大笑いし、何憂うものかと、悠々日本を飛び立ったのですがしかし、現地ガイドがインドを楽しむコツの一番に挙げたのは、何があっても「気にしないこと」という、前途多難を予見させる不吉なものでした。あのユーモアにあふれた垂れ幕も、ガイドのアドバイスも、インドに滞在した8日間はもちろん、むしろ日本に暮らす中で大いに役立ってきました。

◎5月5日(祝日)

降誕会(ごうたんえ) 釈尊の誕生日 (☆山門にて甘茶接待)

◎8月1日~4日

お盆のお参り

◎8月16日(金)

山門大施餓鬼(さんもんだいせがき)

◎12月31日

除夜の鐘

◎毎月17日

23時半撞き始め、1時撞き納め 観音講

◎御講当番

下道・瀬戸口

◎お寺で婚活 吉縁会

参加には登録が必要です。詳しくは吉縁会ホームページをご覧ください

長勝寺報

第15号 令和6(2024)年 新春

長勝寺 ホームページ



発行所

〒八七〇一〇一四二 大分市三川下二丁目六番二十三号
Tel〇九七一一五八四二八七
臨済宗妙心寺派 長勝寺
E-mail tyosyoji.orit@gmail.com

巻頭言

インド仏教は、時代と共にヒンズー教と同化してその特色を失い、ついにはイスラム教徒による寺院破壊によって完全に衰退してしまいました。インド独立後、初の法務大臣となり憲法を起草したアンベードカル博士は、インドの身分制度の最下層に位置付けられた不可触民の出身でした。差別に苦しむ中、人間の「平等」を説く仏教に救いを見出し、1956年、50万人もの人々と共にヒンズー教から仏教に集団改宗します。ここにインド仏教は復活を遂げたのでした。

それから50周年となる記念祝賀大会に出席する為、師匠の河野太通老師を長として結成された20人ほどの使節団の一員となり、仏教の聖地インドを旅したことがあります。ナグプールのディークシャーブーミ(改宗広場)で行われたこのセレモニーは釈尊入滅2500年の節目と重なった事もあって、甲子園球場の3つ分の広大な会場には、数十万人が集まる、とんでもない規模の式典でした。あたかも、床一面にゴマを敷き詰めたと見まごうほどの人ばかり。あんな

に多くの人の熱意に触れたことは未だありません。同行した読売新聞社、西田大智記者は、差別からの脱却と、人間の回復を求めて仏教を選んだ人々を目の当たりにし、信仰とは何かを改めて考えさせられた。と記しています。

「アジアは西洋よりもすでに重要性を増しつつあるが、仏教の精神が広まらなければ、アジアにおいても西欧と同じ争いが繰り返されるであろう」

アンベードカル博士

50年以上前に発せられたにもかかわらず、まるでアジアの現状、近未来を見てきたかのような言葉です。

「願心なきは菩薩の魔事」

と申します。世の中と、そこに住む人々が平和であるようにと願う心を持たない、祈りを持たない人の心は悪魔と同じであるとの意です。

平和の願いを持ちましょう。安寧の祈りをささげましょう。有意義な人生とはそういうものではないでしょうか。

達磨大師 大権修理菩薩尊像 修繕

禅宗寺院の本堂には、向かって右に達磨大師、左に大権修理菩薩をお祀りすることが多く、長勝寺もそれに倣った様式をとっています。近年、両尊像の老朽が著しく、観音堂や山門、庫裡、参道が面目を刷新する中、粗末になっていることを心苦しく思っていたところで、禅の初祖、達磨大師あつての長勝寺であり、伽藍の守護神無くして開創から500年以上の歴史は無かつたと思ひます。



大権修理菩薩 達磨大師座像

本修繕によつて今後500年の興隆を祈ります。ひいては、長勝寺に縁あつて護持を担つて下さった檀信徒皆様の隆盛に繋がる事を願ひ、報恩謝徳の志を表そうと思ひます。

十王石幢移設

2022年1月22日の地震で倒壊した石幢を移設しました。今回は地中に鉄筋コンクリートの基礎を設置し、いけ込みすることによって耐震性を向上させました。設計するにあたっては坂本名良治氏に多大なご助言ご指導を頂きました。鉄筋曲げ、型枠、地下メートルに及んだ穴掘り、転圧、コンクリート打設は和尚の手作業で挑みましたが、しばらく筋肉痛に泣かされました。人力と機械化の差はあれど、コンクリートに携わる方々の大変さがよく身に染みました。何の気なしに通つていた橋や道路もどなたかのご苦勞の賜物と、感謝の念を篤くしたとろです。



元は木ノ下の堀家庭園にあつたものを戦後に移設



お寺とクリスマス

国民的行事の一つとして定着したクリスマス。皆さんも12月24日か25日は、ケーキやご馳走を食べ、クリスマスイベントを楽しまれたことと思います。

ご承知の通り、本来はキリスト様の誕生日を祝う宗教行事ですが、日本においては、教会でない限り、キリスト様よりもサンタクロースの方が幅を利かせております。

さて、ここで気になる事がひとつ。ただのイベントと化した日本版クリスマスですが、いくら宗教色が無いとはいえ、宗教家であるお寺の和尚もクリスマスをするのでしょうか？気になって知り合いのお寺さん何人かに聞いてみました。その結果、意外や意外、柔軟にクリスマスを楽しんでおられる方が多く、少し驚きました。

小学生の頃、プレゼント欲しさに「どうしてうちはクリスマスがないのか？」と聞いたことがありました。

先代和尚曰く、クリスマスはキリスト様の誕生日で、キリスト教の方はみんなこの日をお祝いしている。うちは仏教徒だから、キリスト教徒の方々に敬意を表し、興味本位でクリスマスをするのはしない。と、やおら、本堂から蠟燭を数本持ち寄り、薄暗い燈火の中、静かにキリスト様の誕生日を祝福したことが一度だけあります。

シリーズ 長勝寺の至宝

長勝寺開基 大友統清公位牌

今回は本堂に祀られている大友統清公の立派なお位牌をご紹介します。厨子には五七桐紋の他、大友家紋の杏葉、算木があしらわれています。官位には前泉州大守四位少輔とあり、裏面には大友御屋形との文字もあります。詳細不明ですが、よほどの人物であつたことと思います。



当寺開基正法院殿前泉州大守四位少輔玉峰宗泉公大居士

大友御屋形統清公
天文十九庚戌三月二十日申刻逝去在世七十二歳矣
寛政十巳未二月二十五日遷忌爲冥福養道再建也

裏面